

# 公立大学法人福岡県立大学

## I 全体評価

### 1 総評

公立大学法人福岡県立大学は、設立団体である福岡県が定めた中期目標（中期目標期間：平成18年4月1日から平成24年3月31日まで）において、人間社会学部と看護学部の連携のもと、関連する分野に関する幅広い視野を持ち、保健・医療・福祉の現場で中核となって活躍できる資質をもった優秀な職業人を育成することを最も重要な使命としている。

中期目標期間の最終年度となった平成23年度の評価にあたっては、前年度の評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目7項目中1項目（社会貢献）について、「特筆すべき進捗状況にある」と評定、6項目（教育、研究、業務運営、財務、評価、情報公開）について「順調に進んでいる」と評定した。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡県立大学の平成23年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては順調に進捗していると認められる。

福岡県立大学は、これまでに地域と連携した取組で着実な成果をあげてきている。平成23年度においても、田川市と共同申請した山本作兵衛コレクションが世界記憶遺産に登録されるなど目標を上回る取組が多数認められ、全国的な知名度の向上にも繋がっており特筆に値する。

今後とも地域との連携のもと社会貢献活動等に積極的に取り組むとともに、大学の理念の実現を目指して、教育・研究をはじめとした業務の充実・改善に向けた取組を更に推進されることを期待する。

### 2 業務の実施状況

教育、研究、社会貢献に関する業務の実施状況については、順調に進捗している。

教育については、人間社会学部と看護学部が連携して教育内容の充実に積極的に取り組んでいる。

社会貢献については、大学の知的資源を活用した各種の健康教室や資格・免許保持者へのリカレント教育、不登校・ひきこもりサポートセンターにおけるキャンパス・スクールや相談事業及び教員対象研修事業、社会貢献・ボランティア支援センターにおける社会貢献活動支援等に積極的に取り組んでいることを高く評価する。

### 3 財務状況

財務の状況については、自己収入の増加、経費の節減の双方の取組において、順調に

進捗している。

財務運営にあたっては、今後ともより一層の経営努力に努めるとともに、適切な予算管理と戦略的・効果的な予算配分を推進されたい。

#### 4 法人のマネジメント

業務運営、評価、情報公開といった法人のマネジメントの状況については、順調に進捗している。

今後とも、事務局機能の強化に努めるとともに、運営体制の改善、P D C A（計画、実行、評価、改善）サイクルの確立、情報公開の推進に一層取り組まれることを期待する。

## II 項目別評価（中期目標項目別評価）

### 1 教育

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

#### （1）教養教育の充実

- ・社会人としての基礎力を育成するために、演習科目を4コース開設するなど教養教育の充実に取り組んでいる。

#### （2）専門教育の充実

- ・e-learningシステムの利用を促進するとともに、e-learningコースを65コース開設している。
- ・他学部の専門領域を学べる教育プログラムの意義を学生に伝え、積極的な授業参加を呼びかけたことにより、受講者が大幅に増加している。
- ・両学部の学生と一緒に学習する教育プログラムを通じて相互連携の必要性を認識し、演習科目において地域の課題解決に向けて協働で取り組んでいることを評価する。
- ・前国際ソーシャルワーカー連盟会長を招へいし特別記念講演を実施した。

#### （3）教員の教育能力の向上

- ・F D（※）の推進に努めており、今後も教員相互の授業参観システムの構築など、より効果的なF Dの展開に期待する。

※F D（ファカルティ・ディベロップメント）

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称

#### （4）学生の確保

- ・入試説明会、高校訪問等の入試広報活動を積極的に実施し、オープンキャンパスの参

加者数が過去最高になったこと、志願者数、受験者数ともに前年度実績を上回ったことを評価する。

#### (5) 成績評価

- ・GPA制度(※)を活用し、成績優秀学生に対する表彰を実施している。
- ・社会福祉士、精神保健福祉士、看護師、保健師及び助産師の国家試験合格率について、高い水準を達成しており、取組の成果として評価する。

※GPA制度(GPA=グレード・ポイント・アベレージ)

授業科目ごとの成績評価を5段階(A,B,C,D,E)で評価し、それぞれに対して、4,3,2,1,0のグレード・ポイントを付与し、この単位あたり平均を出して、その一定水準を卒業等の要件とする制度

#### (6) 学生への支援

- ・1、2年生を対象としたキャリア形成支援講座の実施、キャリアサポートセンターでの講座開催等、キャリア支援の強化に努めている。

## 2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・附属研究所において、生涯福祉研究センター(人間社会学部)、ヘルスプロモーション実践研究センター(看護学部)の独自の研究プロジェクトや両学部連携による共同研究プロジェクトに積極的に取り組み、目標を上回る実績をあげている。
- ・外部研究資金への応募件数、獲得件数がいずれも目標を上回っており、取組の成果として高く評価する。
- ・産学官連携に積極的に取り組み、目標を上回る実績をあげている。

## 3 社会貢献

評価	5：中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
----	---------------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施するとともに、目標を大幅に上回る取組や中期計画に掲げる事項以外にも社会貢献に関する積極的な取組が多く認められたことから、特筆すべき進捗状況にあると判断し、5と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・大学の知的資源を活用して地域住民の健康向上のための各種健康教育事業や資格・免

- 許保持者等に対する講習会、シンポジウム等を開催し、また生涯福祉研究センターにおいて、福祉・教育・健康の相談事業に積極的に取り組んでいることを評価する。
- ・不登校・ひきこもりサポートセンターにおいて、教員対象の研修回数が目標を大幅に上回り、学生による県大子どもサポーターの派遣事業やキャンパス・スクールの受入等の活動も活発に行われていることを高く評価する。
  - ・社会貢献・ボランティア支援センターにおいて、学生による社会貢献活動の支援に積極的に取り組んでいることを評価する。
  - ・田川市と共同申請した山本作兵衛コレクションが日本初となる世界記憶遺産に登録された。
  - ・第30回日本思春期学会総会・学術集会を開催し、市民公開講座に360名を超える参加者を得ている。
  - ・アジアの大学との学術交流に積極的に取り組んだこと、交換留学生数が増加したこと、海外語学研修の内容を充実したことを評価する。

#### 4 業務運営

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・事務局機能の強化に向けてプロパー職員の採用計画を策定し、平成24年度職員採用試験を九州歯科大学及び福岡女子大学と合同で実施している。

#### 5 財務

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、目標を大幅に上回る収入実績をあげていることを高く評価する。
- ・メール便利用の促進により、通信費の節減を図り、目標を上回る実績をあげている。

#### 6 評価

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・自己点検・評価及び個人業績評価の実施と改善に努めている。なお、個人業績評価については制度の目的に沿ったより適切なものとなるよう改善を図られたい。

## 7 情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ホームページ内容の改善や定期的な更新により情報公開の推進に努めている。